

リミットコンパレーター (デュアルワイヤーモニター用)

MODEL: 50524 取扱説明書
文書番号 TBJ-6542

DESCO ASIA

DESCO JAPAN 株式会社

はじめに

この度は、50524リミットコンパレーター（デュアルワイヤーモニター用）をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

EMIT リミットコンパレーターは、デュアルワイヤー・作業者二人用プログラマブルモニター及びゼロボルトモニターが適切な校正をされているかどうかテストします。

外観



ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれ等お気づきの事がありましたら、ご連絡下さい。

SECTION 1

設定

1. デュアルワイヤーモニター用リミットコンパレーターの目的は、デュアルワイヤー・作業員二人用プログラマブルモニター及びゼロボルトモニターの校正を4つの作業状態(下限不合格、下限合格、上限合格、上限不合格)をチェックすることによって、検証することです。
2. 抵抗器には 10 種類の抵抗値の設定があり、ロータリースイッチを使って設定できます。位置3～8には、測定値が組み込まれています。位置1と2は、ご希望の下限制限でご使用者が設定することができます。標準の設定は以下です。

位置:

- 1.) ご希望の下限制限 下限不合格
- 2.) ご希望の下限制限 合格安全

- 3.) 1.91MΩ 下限不合格
- 4.) 1.91MΩ 合格安全
- 5.) 10MΩ 合格安全
- 6.) 10MΩ 上限不合格

- 7.) 35MΩ 合格安全
- 8.) 35MΩ 上限不合格
- 9.) ご希望の上限制限 合格安全
- 10.) ご希望の上限制限 不合格上限

リミットコンパレーターは、一度に一つの回路の確認にご使用ください。

3. お使いのモニターが、取扱説明書に記載されている通りに設置されていることを確認してください。
4. 抵抗器のプラグを OPERATOR1 のリモートジャックに接続する。
5. 抵抗器のロータリースイッチのつまみを「XΩ 下限」に回す(X=1.91 MΩ 又はご希望の下限制限不合格、モニターが校正されている作業員下限制限の数値に従って選択)。モニター正面の作業員1の LED 表示を観察してください。黄色の LED ランプが点灯し、アラーム音が鳴るはずですが、(50515/50522本体のみ、下限制限のテスト時にはアラーム音は鳴りません。)これは、下限不合格の状態を示します。
6. 抵抗器のロータリースイッチのつまみを「XΩ 合格」に回す(X=1.91 MΩ 又はご希望の下限制限合格、モニターが校正されている作業員下限制限の数値に従って選択)。モニターの作業員1の緑の LED ランプが点灯し、下限制限合格の状態を示します。
7. 抵抗器のロータリースイッチのつまみを「XMΩ 合格」に回す(X=10MΩ、35MΩ、又はご希望の上限制限合格、モニターが校正されている作業員上限制限の数値に従って選択)。モニターの作業員1の緑の LED ランプが点灯し、上限制限合格の状態を示します。
8. 抵抗器のロータリースイッチのつまみを「XMΩ 上限」に回す(X=10MΩ、35MΩ、又はご希望の上限制限不合格、モニターが校正されている作業員上限制限の数値に従って

SECTION 1

選択)。モニターの作業者1の赤の LED ランプが点灯し、アラーム音が鳴り、上限不合格の状態を示します。

9. 抵抗器のプラグを作業者1のリモートジャックから外す。抵抗器のプラグを作業者2のリモートジャックに差し込み、作業者2のテストを行うために、手順5～8の4つのテストを繰り返してください。
10. モニターが、完璧に校正のテストをパスする各段階で、適切な色の LED が点灯するはずですが、こうした測定の一部で、不適切な LED が点灯する場合(例、手順7では緑の LED が点くはずだが、モニターの赤の LED が点く)、ゼロボルトモニタープログラマーでモニターを再校正してください(プログラマーに正確な校正抵抗値が設定されていること、その本体の正しい手順に則っていることを確認してください)。本製品の各作業者を再度テストしてください。

ご希望の上下制限を設定する

- A.) ヘックスレンチを使って、ロータリースイッチのつまみを外す。本体背面の2のねじを緩め、本体を分解する。
- B.) 各制限に二つの抵抗値を設定してください。一つは合格、もう一つは不合格です。これら二つの抵抗値は、校正抵抗値の±10%となるようにしてください。例:

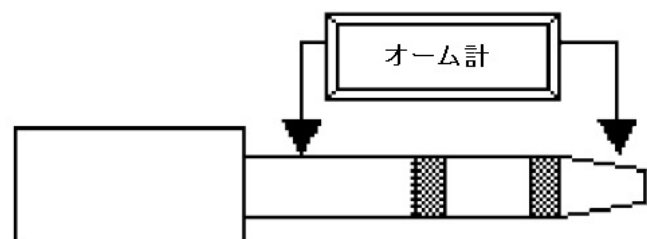
校正抵抗値 下制限	下制限不合格 下限抵抗値 [1M - (1M x 10%)]	下制限合格 抵抗値 [1M + (1M x 10%)]
1MΩ	900KΩ	1.1MΩ

- C.) 下の表は、回路盤のどの番号の抵抗が、任意の下限抵抗と上限抵抗に対応しているかを示しています。これらの場所には適切な抵抗をハンダ付けしてください。

ご希望の下限不合格	回路盤の指定抵抗値
下制限不合格	R1,R1A(直列に接続)
下制限合格	R2,R2A(直列に接続)

注意: ご希望の合計抵抗値に達するために抵抗を加える必要がある場合、二つの抵抗器の位置は、直列に接続されていることが条件となります。使用していない抵抗器の周囲に短絡ワイヤをハンダ付けしてください。

- D.) 本体を組立て、ご希望の制限となるレベルの適切な場所に印をつけてください。
- E.) ご希望の位置にロータリースイッチを回して、本体の先端からプラグまでの抵抗値を、抵抗値検証のためにオーム計で測定することをお勧めします。



SECTION 2

メンテナンス

アルコールで定期的にプラグを拭いてください。

保証規定

本製品は、米国 DESCO Industries Inc. 社により製造され、日本国内の販売、保守、サービスは、DESCO JAPAN 株式会社が担当するものです。

本製品が万一故障した場合は、製品購入後一年以内については無料で修理調整を行います。ただし、以下の項目に該当する場合は、上記期間内でも保証の対象とはなりません。

- (1) 取扱説明書以外の誤操作、悪用、不注意によって生じた故障。
- (2) 当社以外で行われた修理、改造等による故障。
- (3) 火災、天災、地変等による故障。
- (4) 使用環境、メンテナンスの不備による故障。

保証の対象となるのは、本体で付属品、部品等の消耗は、保証の対象とはなりません。

* 本保証は、上記保証規定により無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

* 本保証内容は、日本国内においてのみ有効です。

機器に明らかなる不良がある場合については、下記内容を当社にご連絡下さい。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1) 機種名または、品番 | 4) ご購入年月日 |
| 2) 製品シリアルナンバー | 5) 御社名、部署名、担当者名 |
| 3) 不良内容(できるだけ具体的に) | 6) 連絡先 |

以上の内容を検討致し返却取扱ナンバーを御社に連絡致します。製品を返却する場合は、返却取扱ナンバーを製品に添付してご返却下さい。

返却ナンバーが表示されていない場合は、保証の対象とならない場合があります。

DESCO ASIA

DESCO JAPAN 株式会社

〒289-1115

千葉県八街市八街ほ 20-2

Tel: 043-309-4470 Fax: 043-309-4471

<http://www.descoasia.co.jp/>

2013-01 REV.0